令和4年　11月　11日(金)～13日(日)

8時～15時　志納金600円

# 宝物風入れ展

毎日開催

一年に一度
三日間だけの文化財特別公開
武田家・開山禅師ゆかりの宝物
キリスト・マニの絵画など
※限定御朱印もあります

## 法話スペシャル　12日開催

建長寺派布教師20分法話（毎時0分，30分～）

## 住職による境内案内

10時・12時から約30分　11日開催

## 蕎麦切り奉納

12日開催

午前十時　大般若　来山者の諸願成就祈祷
コロナ禍のため蕎麦ふるまいはございません。

## 幻住坐禅会

十一日
十二日
開催

風入れ展開場前に石庭での坐禅はいかがですか。
朝８時～８時４５分

毎日開催

住職手作り精進菓子でおもてなしいたします。日常の喧騒をはなれ、こころを落ち着かせ楽しくお話しいたしましょう。

## 囲炉裏カフェ

＜発行者＞　臨済宗建長寺派 天目山 栖雲寺　住職 青柳真元
〒409-1201 山梨県甲州市大和町木賊122　TEL 0553-48-2797
ホームページhttp://www.tenmokusan.or.jp　または[栖雲寺]で検索

公式ホームページ　お寺の説明、行事案内など

住職日単(blog)　日常をありのままに、住職日誌

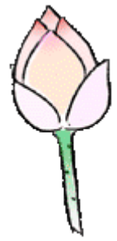
Instagram　天目山の写真　*Please follow*

栖雲寺たより

# 天　目

第４１号

発行日
令和４年１０月１日



## 私の幸せはあなたが幸せになること

日本各地を台風やゲリラ豪雨が襲い命が奪われました。生きとし生けるもの水無くしては生きていけませんが、その水によって多くの人命を失いました。

幸せを求めて多額の布施をした信者の息子を絶望感が襲い命が奪われました。生きとし生けるもの心の潤い無くしては生きていけませんが、その潤いを求め宗教にすがった結果、また人命を失いました。恐るべき真逆の結果から見てもまさに表裏一体です。

自利利他円満（じりりたえんまん）の教えがあります。自分の利より他人の利、それが円満つまり丸く収まっている状態。布施・喜捨・寄付と言い方は違えど同じこと。釈尊も説かれた大切な行であり、栖雲寺も他のお寺も檀信徒の布施によって維持管理が成り立っております。しかしその布施によって、世界の人々は本当の幸せを手に入れることができているのでしょうか。

布施は何のため？苦しんでいる先祖を救うため？いいえとんでもない、それを布施の目的とさせるのは不安をあおったまやかしです。浄財がなくてもご先祖様は大いなる命に帰り安住しておいでで一切苦しんでなどいません。苦しみの渦中にいるのは現世で生きる私たち。楽しいことより苦しいことの方が多いでしょうか。そんな世界に生きており、その苦しみを和らげるのが布施・寄付。つまり利他の精神、支え合い助け合うこころであります。

海の水は津波で人命を奪うことがあるけれど、真の資性は青空に水を布施して雲をわき起こします。その雲は風に流されやって来くると豪雨で人命を奪うことがあるけれど、真の資性は広い荒野に雨を布施して渇いた大地を潤します。その大地は地震や噴火で人命を奪うことがあるけれど、真の資性は大地の恵みを生きものたちに布施して多くの命を育てます。

そして大地に育ててもらった私たち人間は、その恩によって生かされています。大自然も施し合いの縁起で成り立っているというのに、生物界の頂点に立った私達人間は傍若無人に奪い・壊し・争うことは得意であるけれど、手に入れたものは固く握って手放さず、果たして何を布施しているのだろうか。釈尊はおっしゃいました。

「苦しみを滅するには、目の前の人に慈悲の心を布施しなさい」と。

人は誰もが幸せになりたくて日々を精一杯生きています。しかし真の幸せとは自分の願いを叶え欲求を満たしていくことではありません。なぜなら人の欲は決して満たされず果てしないものであり、求めるものが得られないことは苦しみの連鎖に繋がるから。

釈尊は、自利利他円満、つまり自分の幸せは人々の笑顔・他人の幸せから得られるものであると教えてくださいました。幸せは排除や略奪や欲望の先にあるのではありません。一番の近道は『人にやさしく』です。

『私の幸せはあなたが幸せになること』そんな慈悲心の布施はこの世界を回りまわって必ず自分に返ってくる。全ては因果応報なのです。釈尊の御教えを信じ、この泥沼のような世界でも心にはきれいな紅蓮華を咲かせ生きていきましょう。　祈世界平和

小住職　合掌

# 【令和4年　7月　～　9月の報告】

## ＹＢＳツアーは全日盛況

5月、6月、7月と3回設定されたYBSツアーですが、今年はどの回も多くの申し込みを頂戴したので3回とも催行されました。本堂で坐禅と法話、石庭に出て境内案内と岩坐禅、お寺の作法で精進料理を食し、宝物を拝観いただきました。昨年参加のリピーターさんのほか、5月の回に参加された後すぐ申し込まれて7月の回にもまた参加してくれたリピーターさん。

多くの方に天目山をお楽しみいただけたことは無上の喜びです。今後も継続していく予定ですので、岩坐禅を未体験の方は是非ご参加ください。

また最近は、企業研修・空手道場・お寺ヨガ・女子会・家族会などでも栖雲寺禅体験を希望される方が多く、「坐禅の聖地®」を有効に活用しております。

## 7月16日　弓道百射会

趣味で細々と続けております弓術は、毎年6月に開催される山梨大学弓道部のOB戦に参加しておりましたが、コロナ禍にあって3年連続で開催されないことが決まりました。しかしそれでも弓を引きたい。頑張っている現役生からは多くの刺激を受けるので、寺の裏庭ではなく大学で学生と一緒に引きたいのです。百射会は開催するとの情報を得たので無謀にもそちらに参加させてもらいました。練習不足なので当然ですが、全く的に中らない散々な結果に終わりました。

## 7月21日　青銅鏡づくり

山梨県立考古学博物館には銚子塚古墳から発掘された四世紀頃の青銅鏡があり、その複製を作る体験ができます。栖雲寺には武田勝頼公遺品と伝わる古く錆びて何も映らない陣中鏡があり、それと比較して展示しようと考え作成してまいりました。もっと簡単で、丸一日かかるとは思いもせずに申し込んだので、作業中は脱力感と後悔の念がローテーションしておりましたが、２時間以上かけて磨いた一点の曇りもない鏡を見たら心の雲も一気に晴れました。

これで次回から、栖雲寺に校外学習に来る市内の小学生たちにも本物はこんなによく映るのだと説明してあげられます。秋の宝物風入れ展でも並べて展示する予定です。

左：軍旗を映して撮影した鏡
右：勝頼公の遺品と伝わる鏡

## 7月27日　御朱印を一新

7月27日の開山忌（業海本浄和尚様の命日）を節目として御朱印を一部変更しました。これまで直接お書きしていた摩利支天は書き置きの透かし入り御朱印のみとし、新たに「地蔵磨崖佛」の授与を開始ししました。地蔵磨崖仏は石庭の巨石に彫られたお地蔵さまで、業海本浄和尚のお手彫りと伝わる石庭道場の本尊様です。本堂の表本尊として「宝冠釋迦如来」を、石庭の裏本尊として「地蔵磨崖佛」をお書きいたします。住職不在時は書き置きをご用意しております。

## 8月14日　棚経を三世代４人で

永泰寺のお盆の棚経は、私の父、私、二人の息子の４人で廻りました。父・私・息子の三世代で廻るこの日を夢見て待ち望んでいました。数年前に父が体調を崩して私一人で廻った時は13, 14, 15日の丸3日間を要し夜９時過ぎまでかかったような日もあるというのに、今年は早さ4倍。14日の昼過ぎには終了です。お小僧さんが廻り、檀家さんも喜んでくれました。

## 9月8日　ＵＴＹのスゴろくに出演

夕方の情報番組で栖雲寺の岩坐禅が取り上げられました。けんちん汁作り、宝物案内の場面も放送してくれたので、約９分ほどの栖雲寺特集でした。テレビの効果は大きく、次の日には観光客が大勢お見えになり、研修の問い合わせも入り、実際にお申込みもいただきました。知名度はかなり上がってまいりましたが、まだまだこれからです。

## 9月14日　弟子が在錫する京都の臨済宗専門道場へ

京都の修行道場へ行き弟子の顔を見てまいりました。本来ですと師僧(私)が願い出れば2～3週間の休みをいただけるので、栖雲寺に戻ってくることもできます。しかし老師様の御助言もあり、熟考した結果、酷なようですが弟子には休みを取らせませんでした。それなので、反対にこちらから様子を見に行った次第です。老師様のご指導の下、日夜坐禅に励んでいるようで修行僧らしい良い顔つきに変わっており、師僧としても安心いたしました。檀家様や坐禅会参加者様のほか、弟子を気にかけ心配してくださっている皆様、いつもありがとうございます。なんとか半年は勤まりました。

# [坐禅の聖地®]で禅体験

- 本堂坐禅
- 石庭での霊石岩坐禅
- 写経・写仏
- 幻住茶礼（石庭で抹茶と菓子）
- 境内案内・歴史講話
- 食作法（寺の作法で精進料理）
- 掃除・板の間ぞうきん掛け
- けんちん汁作り
- 蕎麦打ち　　など

各禅体験は組み合わせ可能です。またお仲間と茶話会お寺ヨガなどで自由にお過ごしいただくことも可能です。志納金は組み合わせ方により変わりますので直接お問い合わせ願います。

企業研修、仲間内、学校行事等でご利用いただければ幸甚です。詳しくはホームページをご覧ください。

**《月に一度の定例坐禅会も》**

☆毎月最終日曜日
午前7時～8時　本堂坐禅・岩坐禅
引続　8時～8時半　茶礼
★志納金300円